



独立行政法人 地域医療機能推進機構

りつりん病院



看護職員リクルートガイド



Japan Community Healthcare Organization
Ritsurin Hospital

看護部長
舘野 洋子



りつりん病院看護部では、

1

その人らしさを
支える看護

2

働き続けられる
職場環境

看護部の 理念・方針

私たちは患者さまやご家族の声・気持ちを大切に
する看護をめざします。

看護部 基本方針

- 1.受け持ちの看護師としての役割と責任を果たします。
- 2.多職種との連携を強化し、スムーズな社会復帰・退院を支援します。
- 3.地域住民のニーズに応じた看護サービスを提供します。

病院 概要

健康管理センターと回復期リハビリテーション病棟などを
併設した急性期総合病院です



病床数:199

10:1一般病棟、地域包括ケア病棟、
回復期リハビリテーション病棟、外来、手術室、
健康管理センター、訪問看護ステーション

看護職員数:178名

看護方式:チームナーシング

教育体制:キャリアラダーシステム

新人看護職員卒後臨床研修制度
プリセプターシップ

認定看護師:2名(がん性疼痛看護1名、感染管理1名)

院内保育所あり 月～土(7:30～18:00)

夜間保育 水(15:30～翌10:00)

4つのことを大切に日々活動しています。

3

それぞれの
キャリアビジョンを支援

4

「看護」を語る
看護師育成

“良い看護はプライベートの充実から生まれる”

その人らしさを支える看護



住み慣れた環境で
“その人らしく暮らす”
をサポートしています。

働き続けられる職場環境



ママさんナースがたくさん活躍中!
育児・介護と仕事が両立できるよう、
協力しあえる仲間です



JCHO認定キャリアアドバイザーが、
キャリアビジョンを支援します。

それぞれのキャリアビジョンを支援



キャリアラダーシステムで
段階的な教育体制です
院内・地区・本部と多様な
研修体制があります

「看護」を語る看護師育成



ラダーレベルごとに自己の看護を
振り返り表現できるようにしています
そして、多職種カンファレンスなどで
看護にできることを提案しています

JCHO ならではの多彩なキャリア支援

JCHOグループでは、院内研修・地区研修・本部研修と連携した教育体制があります。院内でWebを使用したグループ内研修を受講することができ、キャリアアップシステムも充実しています。また、JCHO認定キャリアアドバイザー（JCA）がキャリアアップについての支援をしています。専門・認定看護師・その他の資格の取得や長期研修会の受講費・給与支給などさまざまな支援があります。



レベルV	ファシリテータ (管理職補佐)	● 自施設の目標達成に向けて組織改革に必要な建設的意見を提案でき、具体策を主体的に実践する。 ● より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する。 ● 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり研究活動を実践できる。看護単位における教育的役割がとれる。	管理・教育 スペシャリスト	信頼感
レベルIV	実習指導者	● 自施設の目標達成に向けて主体的に実践する。 ● 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する。 ● 自己のキャリア開発に関して目指す方向に主体的に研究的に取り組み、後輩のロールモデルとなることができる。		倫理・安全・研究
レベルIII	プリセプター リーダー	● 所属部署の目標達成に向けて主体的に実践する。 ● ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する。 ● 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、新人や看護学生に対する指導的な役割を実践することができる。	ジェネラリスト	基本的看護技術
レベルII	チームメンバー	● 組織の一員としての役割を理解し、所属部署の目標を意識して行動する。 ● 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する。 ● 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開することができる。		
レベルI	新人	● JCHO及び自施設の理念と使命を理解し、組織の一員としての自覚を持って行動する。 ● 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する。 ● 自己の課題を指導によって発見し、自主的な学習に取り組むことができる。		確かな技術

認定看護師の活動

がん性疼痛看護 認定看護師 (1名)



患者さまやご家族が抱える苦痛を、身体的だけでなく不安や悩みなど様々な苦痛を含めたものとして捉え、その苦痛が緩和されるように患者さまやご家族の相談に応じて接しています。また、がんによる痛みや痛み以外の症状を緩和できるように、医療スタッフと協力して鎮痛薬の調整を行なっています。

感染管理認定看護師の役割は、患者さん、ご家族および医療従事者、訪問者など、病院に関わる全ての人を感染から守ることです。院内の感染リスクを低減するために医療関連感染の発生の監視・予防・対策、職業感染対策、職員への感染対策指導、病院環境の整備、医療関連感染の予防および感染管理システムの構築を行っています。また、地域の医療機関との連携を円滑にし、感染対策の実施方法の確認や医療関連感染発生時にも相互に適切な対応ができるよう支援する体制を整えて活動しています。

感染管理認定看護師 (1名)



先輩ナースの声

X・Xさん



40代前半 (卒後7年目)

出産をきっかけに「人の人生に深く関わる仕事がしたい」と看護師を志しました。新人として入職した当初は、急性期病棟の忙しさや責任の重さに戸惑いましたが、プリセプターや先輩方の「一人にしない」丁寧な指導に支えられ、安心して成長することができました。現在は急性期ならではの緊張感の

中で、回復に向かう患者さんの姿や「ありがとう」という言葉に、日々やりがいを感じています。患者さん一人ひとりに寄り添い、その人らしい回復を支える看護を大切にしています。「人を大切にする看護」を大切に、仲間とともに学びながら、あなたのペースで成長していける職場です。

20代前半 (卒後2年目)

病棟で働き始めて、1年8ヶ月が経過しました。入職時は、コロナの影響で臨地実習をほとんど経験していない私が、看護師として働いていけるのかとても不安でした。実際の指導はプリセプターだけでなく、病棟の先輩方が丁寧に対応してくれ、自信を持って看護援助が行えるようになりました。今でも不安



X・Xさん

なことは先輩方に相談し、患者さんにとって安全で安楽な看護が行えるようにしています。眼科などの短期入院の患者さんも多く、大変なことも沢山ありますが、先輩後輩関係なくフォローし合える環境で、安心して働くことができます。

りっりん病院の特徴

一般急性期病棟

一般病棟は10:1看護師配置です。整形外科・脳外科をはじめ多くの診療科に対応しており、診療科の垣根を超えて、幅広く看護のスキルを活かすことができます。また急性期・周術期・ターミナル期と、さまざまな看護過程の患者さまを支援する病棟です。緊急入院や看取りなど、看護基本技術を経験できることが特徴です。



地域包括ケア病棟

急性期治療を終えた患者さまが退院後の生活にスムーズに移行できるよう、在宅復帰を支援する病棟です。「できる限り住み慣れた地域の中で療養生活を送る」ため、患者さまご自身やご家族の意向をじっくりと聴き、医師や看護師、コメディカルスタッフで多職種チームを組み連携して退院支援を行っています。



回復期リハビリテーション病棟

主に運動器、脳血管疾患でのリハビリが必要な患者さまを対象とした病棟です。急性期に比べて入院期間が長く患者さまの回復過程に寄り添い自立度が高まっていく様子を間近で見られるやりがいがあります。患者さまの「再び自分の家で生活したい」という願いを看護の力で実現できる場です。



外来・健診

外来では迅速で丁寧な診療補助と安全管理を行い、患者さまが安心して受診できる環境を整えています。また、健康管理センターは香川県下150の企業へのバス健診や、院内では1日70名ほどの健康診断、人間ドックや保健指導を行っています。笑顔で安心のケアを心がけています。



手術室

手術室では年間1,600症例の手術に対応しています。患者さまへ安心安全な医療提供のため、医師、麻酔科医、看護師、臨床工学技士、放射線技師など多職種で連携しチームで取り組んでいます。

中央材料室では委託業者の方々と手術機器、院内全部署の滅菌物の管理を行い、病院の医療を支えています。



訪問看護ステーション

訪問看護師は『地域のみなさまが、住み慣れたご家庭で自分らしく生きるお手伝いをさせていただきます』を合言葉に、主治医やケアマネージャー等と連携しながら一人ひとりのご病気や障害に合わせて、ご本人やご家族の希望を尊重しながら在宅療養を支援します。

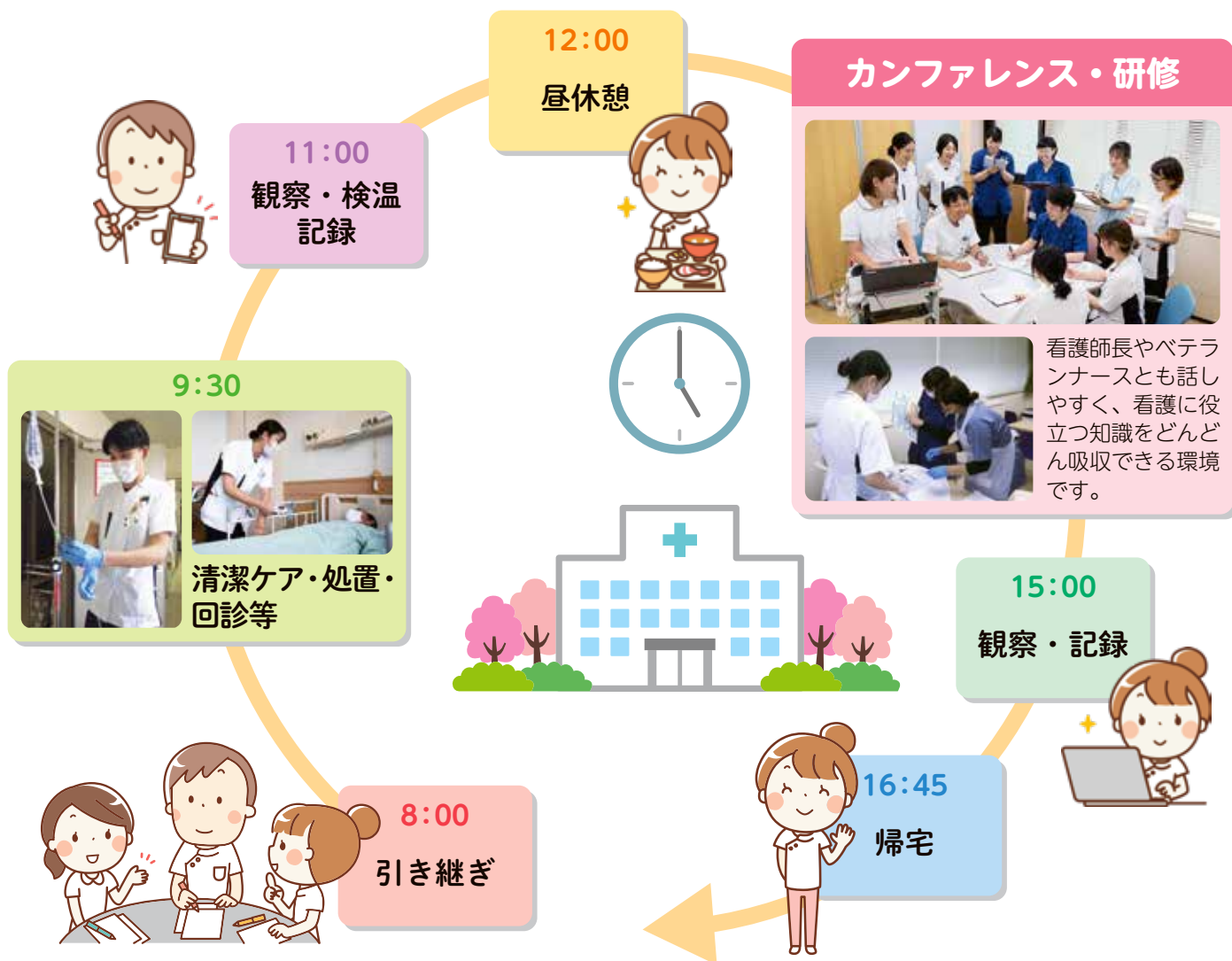


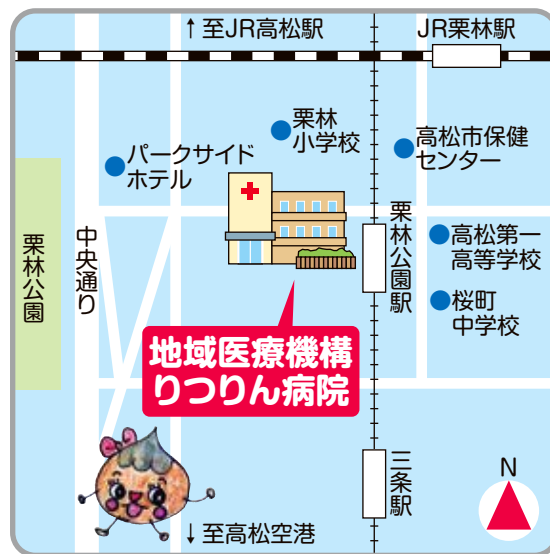
福利厚生

- 子どもの学校行事に参加しやすくなるように、年休の時間単位利用も積極的に活用されています。
- 希望者の嘱託職員への切り替え、夜勤専従制度の導入などもあります。
- 病院の隣には、ママナースが安心して子どもを預けられるように夜間保育にも対応した保育所があり、現在5~6名が利用しています。



1日の流れ





Japan Community Healthcare Organization Ritsurin Hospital
独立行政法人 地域医療機能推進機構

りつりん病院

〒760-0073 香川県高松市栗林町3丁目5番9号
TEL (087) 862-3171(代)
FAX (087) 837-1427
HP : <https://ritsurin.jcho.go.jp>
mail : main@ritsurin.jcho.go.jp

